

基本目標2 男女が共に自立して安心・安全に暮らせるまちの実現
主要施策2 生涯を通じた健康づくりの推進と生活に不安を抱えた人への支援

対象事業	現状・課題	意見	理想像
<ul style="list-style-type: none"> ・事業20 P8 ・事業25 P9 ・事業32 P12 ・事業36 P13 ・事業21 P8 	<p>1歳6か月は成長過程を見るうえで大事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本では精神障害者が多い ・特定検診受診率低下→医療費上がる ・通知の字が小さい ・相談窓口が認知されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月健診の対象者数 ・パーセンテージを成果に入れてほしい ・フォローアップ体制（電話、全員受けるようにしている）→仕事・体調不良 受診期間：4日間しかない ・836人、小学生3年生以上受け入れが難しい。指導員不足。 なかなか指導員が集まらない。 夏休み期間だけを利用して隙間バイトできて もいいという事業所もある ・成果：不足の指導員数を示してほしい 周知不足につながる（応募） ・資格取得を補助 ・スペース：基準あるのか？ ・精神障害も含まれているのか ・中高年が後期に移る。若年層の受診率を受ける。 もう少し健診項目を増やしてほしい。 乳がんも若年層 ・QUOカードが当たる取組 啓発：サッカーチームで去年したほしい。 人間ドックの代わりに使ってほしい。 ・通知のレイアウトを工夫 ・SNSで広報し検索しやすいようにする ・学校の相談窓口（スクールソーシャルワーカー、保健師等に相談に来るとき先生等教育 	

